

あおもり立志挑戦塾

第3回開催レポート

平成20年9月27日(土)～28日(日)

発行元：青森県企画政策部人づくり戦略チーム
発行元住所：青森市長島1丁目1番1号

CONTENTS

1. 野田塾長あいさつ
2. 富田秀夫氏の講話概要
3. グループディスカッション

実績に裏打ちされた経営哲学が塾生を圧倒！

①塾長挨拶の概要

第三回目の「あおもり立志挑戦塾」を九月二十七～二十八日に開催しました。野田塾長から経営における理論と実践についてお話しがあり、講師の元宮城リコー社長の富田秀夫氏による「厳しさが人と組織を強くする」と題した講話と富田氏の指導による「氣」の体験後、グループ毎に「仲間や部下の心をどう動かすか」をテーマに議論しました。

今回お迎えした富田さんは、宮城リコーの社長をしておられた方で、経営者として非常に素晴らしい実績と素質を持っていらっしゃいます。

皆さん方の大部分の方は企業や経営に関係しておられますが、経営学を専攻して一流の経営者になった人は誰もいません。今、サブプライム

問題というのが世界を揺るがしています。あれらは、みんな金融工学というものが考えた商品です。合理的な商品なのに、結果的には人間というものが悪用するわけです。そうすると、買った人間も売った人間も、善意でやったにもかかわらず、結果的に大きな被害がもたらされる。

経営というものは多少それと似ています。経営というものは結局体験です。しかし、体験があつて、その上で技法とか、知識とか、技術というものが役に立つ。だから豊かな体験を持っている人は、なるほどこういうもの（知識・技術）があつたら何で今まで俺はこの中で苦労したんだろう、と分かるよ



うになる。しかし、苦労なんか最初からしないで、知識を持てばいいじゃないかと考えると、サブプライムローンみたいなことになる。でも、そこが面白いんですね。社会現象が持っている面白さです。知識や技術や理論は必要ないかという、そうではなく、非常に大事なものだし、体験も大事だ。体験を短くして知識や技術の方だけでもいらない。体験があるから、知識や技術が役に立つのです。

講師の富田さんは、そういうことを百も分かっていらっしゃる方ですから、経営者としての体験を踏まえて、経営一般についてのいろいろなご提言、ご助言を頂戴したいと思うわけです。

